

【スライド1：表紙】 皆さん、おはようございます。先週は土曜参観で、たくさんの保護者の方が見ている中、一生懸命に授業に取り組みましたね。みなさんの一生懸命な姿がとても素敵でした。

さて…明日6月10日は、何の日だか、皆さん知っていますか？

明日は、旭小学校の47回目のお誕生日 「開校記念日」です。

今日は、学校のお祝いをする お話をします。

最初にクイズをします。画面を見てください。3階図書室の前の掲示物です。きれいな「虹」の下に漢字が並んでいます。「雨」「霜」「露」とか。これは、全部上の部分に「雨（あめ）」がついていますね。6月は雨がたくさん降る季節です。

雨は、お花や、私たちが食べるお米、お野菜を育てるために、なくてはならない大切なものです。実は、この雨の季節に生まれた旭小学校も、皆さんを育てる大切な場所として造られました。

【スライド2】 今から47年前の、昭和55年のことです。すぐ近くのひばりが丘小学校という学校から、新しく分かれて「旭小学校」が生まれました。最初はまだ、体育館もありませんでした。校歌もありませんでした。でも、その年の11月に、学校のシンボルである「校旗（旗）」ができ、次の年の1月に体育館ができ、3月にみなさんの大好きな「校歌」ができました。こうして、少しずつみんなが気持ちよく過ごせる学校になっていったのです。

【スライド3】 学校ができてから、たくさん子どもたちがここで勉強し、たくさん先生たちが学校を守ってきました。校長室に、歴代の校長先生の写真が並んでいます。私より前に、15人の校長先生がいました。写真の先生たちはみんな、「旭小学校の子どもたちが、毎日笑顔で、楽しく過ごせますように」と、そのことだけを願って、この学校を大切に守ってきてくれたのです。こんどぜひ見に来てください。

【スライド4：47回目のお誕生日！】 そうして、バトンを繋いできて、今年で47年目になりました。学校のまわりも随分変わりましたね。

今、ここにいる人達も、その長い歴史のバトンを受け取る大切な仲間です。みんなが今ここで学んでいることこそが、旭小学校のながい歴史の一部になっています。

【スライド5：】 ……さて、ここで みなさんに、大切な話をします。もしかしたら、お家の人とテレビのニュースを見たり、先生や大人のお話を聞いたりして、知っている人もいるかもしれませんが。「旭小学校が、この先なくなってしまうかもしれない」というニュースです。

【スライド6】 実は、旭小学校は、すぐに なくなる訳ではありません。 10年…20年…ずーっと先の話です。でも、「自分がいた学校がなくなる」ということは…とっても大きな事です。

このお話を聞いて、「学校がなくなっちゃうの?」「悲しいな」「寂しいな」と、胸が痛くなった人がたくさんいると思います。心がモヤモヤしてしまった人もいるかもしれません。まず、みんなに伝えたいのは、「悲しい」「寂しい」と思うのは、決して悪いことではないということです。むしろ、それはみんなが、この旭小学校のことが大好きで、友達や先生との毎日を大切に思っているからこそ、生まれる気持ちです。旭小学校を大事に思ってくれて、本当にありがとう。先生も、同じように寂しい気持ちです。

【スライド7】 でも、みんなにどうしても覚えておいてほしい、大切なことがあります。それは、形のある「建物」は、いつか古くなって、形を変えるときが来るかもしれない。けれど、「みんながこの学校で過ごした時間、みんなで作った思い出」は、誰にも、絶対に壊せないということです。

教室で友達と笑い合ったこと。運動会で一生懸命走ったこと。テストで頑張ったこと。学校というのは、建物だけのことではありません。みんなの心、みんなの笑顔、それこそが「旭小学校」そのものなんです。建物がどうなろうと、みんなの心の中にある旭小学校は、ずっと消えません。

【スライド8】 そして、もうひとつ。「ずっと先の未来」を心配して、今の毎日を悲しい気持ちで過ごすのは、もったいないですよ。大切なのは「今」です。今日、この瞬間です。

今日、隣にいるお友達と仲良くすること。今日の授業で「分かった!」と喜ぶこと。今日のご飯を美味しいと食べること。この「今日という一日」を最高に楽しく、一生懸命に過ごすこと、そのものが、10年後、20年後の皆さんが大人になったときの、とても強い「生きる力」になります。今を大事にすることが、皆さんの素敵な未来を創っていきます。

私たちはこれからも、大好きな旭小学校で、みんなと一緒に過ごせる「今」を、もっともっと大切にしていきたいと思います。隣にいる友達を大事に、お互いに笑顔を交わして、一生懸命に学ぶこと。それこそが、47歳になった学校への、何よりの、一番素敵な「お誕生日のお祝い」になります。ぜひ、明日、10日には、みなさんで「旭小学校のお誕生日のお祝い」をしてください。どんなことをしたか聞くのを、先生は楽しみにまっています。

これで、先生のお話はおわります。長い時間しっかり聴いてくれて、ありがとうございました。